

アザ

レーザー治療

アザは形成外科の専門領域です。

ルビーレーザー治療で治療します。保険適応です。

- ▶ 太田母斑
- ▶ 外傷性刺青
- ▶ 異所性蒙古斑
- ▶ 扁平母斑

費用

■ ルビーレーザー治療（保険適応）

施術代+薬代を含めて（3割負担の場合）

1回 約1万円

注意：ADM（後天性真皮メラノサイトーシス）は保険適応外

色々な母斑の説明をさせていただきます。

太田母斑

母斑とはアザのことです。太田母斑は顔、特に目の周りにある青っぽい褐色斑です。思春期から目立つようになります。

*肝斑がよく似ていますが、治療法は違います。レーザー治療は逆に肝斑が濃くなります。（オーロラ治療で薄くなります。詳しくはシミ治療をご参照下さい。）

*ADM（後天性真皮メラノサイトーシス）は太田母斑に似ていますが違います。日中韓国人の女性に多く見られ、13歳以上（多くは20歳以上）に初発する顔面に色素斑です。単独で見られることもあります。両頬が最も多いのですが、まぶた、額鼻などにも出現することがあります。多くの場合普通のシミ（日光性色素斑）やそばかす（雀卵斑）、肝斑と混在しています。ルビーレーザーで治療をします。2～3回で目立たなくなることが多いです。ADMのレーザー治療は保険対象外です。肝斑が濃くなる場合はオーロラ治療を行います。

美しさは心のビタミン

外傷性刺青

ケガの跡が青く、刺青状態になることです。

異所性蒙古斑

蒙古斑は新生児の殿部にみられる青アザです。同じような青アザが殿部以外にあることがあります。普通は、10歳前後で消えますが、長く残る場合があります。

扁平母斑

薄い茶色の母斑です。

治療

治療回数の目安	太田母斑 4～5回 外傷性刺青5～6回 異所性蒙古斑 3～4回 扁平母斑 2～3回
---------	--

以上、治療回数の目安です。個人差や色素沈着の程度によります。

|| ルビーレーザーによる治療の実際

- ▶ 最初に、最適出力を調べます。
表面麻酔を行ないますので痛みは軽度です。
- ▶ 2週間後に最適出力を判定し、表面麻酔後にルビーレーザーを照射します。
- ▶ 2～3日で黒いカサブタになります。洗っていると自然に落ち10日前後で皮膚が乾燥します。
- ▶ しばらく赤みを伴います。
- ▶ 1回で薄くなります。目立たなくなるには数回のレーザー治療が必要です。
- ▶ 照射間隔は3ヶ月に1回です。

*レーザーの照射回数は保険適応ですが、最高4回までです。

アザのレーザー治療のQ&A

- Q 痛みは？
A 表面麻酔クリームを用いますが、少しチクリとします。照射後の痛みが数日続きます。痛みが強い場合はご連絡ください。
- Q 1回で消えますか？
A 1回では無理です。徐々に薄くなります。数回の照射が必要です。
- Q 完全に消えますか？
A 全く見えなくなるまで薄くすることは、困難です。完全に消すことは出来ませんが、目立たなくなります。
- Q レーザー照射部後の経過は？
A 2～3日で黒いカサブタになります。カサブタが出来ても自然に剥がれるまで無理にはがさないで下さい。洗っていると自然に落ち10日前後で皮膚が乾燥します。しばらく、赤みを伴います。
- Q 副作用は？
A 個人差が大きいです。レーザー照射による反応性色素沈着（レーザー焼け）が一時的に起こる事があります。この様なことが起こらないように当院では、まず、一部分にレーザー照射しテストをします。安全を確認後に治療を開始します。それでも照射時の体調やお肌の状態で色素沈着をすることがあります。紫外線（日光）に当てたり、擦ったりしないように気をつけていれば数ヶ月後に、自然に回復します。それでもシミが残る場合はシミ治療を行います。
- Q 入浴は？
A 入浴はOK。照射部位は強く擦らないようにしてください。お湯やシャワーでよく洗ってください。洗った後は当院の化膿止め軟膏を2週間塗布してください。
- Q 化粧は？
A 皮膚が乾燥してから行なって下さい。